

2023年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦 開催要項

主 催 一般財団法人関東大学バレーボール連盟
主 管 一般財団法人関東大学バレーボール連盟

I：試合日程及び運営

- 1、開催期間
 - ・2023年9月2日（土）～10月29日（日）（1～3部）
 - ・2023年9月2日（土）～10月29日（日）（4～9部）
- 2、入 場 料
 - ・一般 3000円 ・高校生以下 500円（男女1部のみ）
 - ・チーム関係者 1000円（当該試合のみ観戦を認める）
 - ※中高生の方は受付にて学生証を提示すること。
- 3、大会運営及び日程・会場
 - (1) 学連員または代表校を中心にリーグ戦を円滑に行うように心がけること。
 - (2) 日程・開催会場は各部で決定する。
- 4、開会・閉会式
 - ・開会式は実施せず、閉会式のみ実施する
- 5、流行性疾患及び災害時の対応
 - (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
関東大学バレーボール連盟「大会運営ガイドライン」、「新型コロナウイルス対応指針」を遵守すること
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者は各チームで体調の管理をすること。
 - (3) インフルエンザ・コロナウイルス等の流行性疾患発症者がチームに複数名（2人以上）いる場合は速やかに学連に報告すること。
 - (4) 多数のチームで多数の選手・スタッフが発病している場合や災害等が発生している場合は、危機管理委員会が、チーム状況を十分に把握したうえで、延期や中止する可否かを判断し、延期・中止決定の場合は速やかにホームページに掲載する。
 - (5) 学連はチーム状況を把握のうえ、試合再開の日程(平日を含む)、会場レフェリーの確保等の準備ができ次第、速やかに試合日程をホームページに掲載する。
 - (6) 日程等の調整のうえ極力全日程の消化に努めるが、危機管理委員会で以降試合の続行が不可能と判断された場合や、途中で棄権チームが多数発生し以降すべての試合に参加できない場合はその時点で大会は中止とする。
また、大会期間中に棄権チームが1、2週等のみの棄権でその後出場可能になった場合は、予備日を使い極力全日程の消化に努める。
 - (7) 大幅な延期になった場合は、危機管理委員会で審議し、危機管理委員会より取り扱いを決定する。

- (8) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動をとること。
- (9) 流行性疾患の発症により、試合参加が不可能な場合は、試合の前々日までに下記報告窓口に連絡すること。

○感染症対策窓口：health@juvf.jp

○感染症対策電話番号：080-4670-8995

Ⅱ：大会参加資格

1、チーム参加資格

下記の条件を満たしていること。

- (1) 2023年度(公財)日本バレーボール協会(JVA)登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) チームに在籍している学生はJVA個人登録(MRS)の登録者であること。
- (3) 2023年度(一財)関東大学バレーボール連盟、2023年度(一財)全日本大学バレーボール連盟の加盟校および登録者であること、また本大会にエントリーされていること。
- (4) リーグ戦の選手登録の回数制限(年間2シーズン制の場合)について。大学の最短修学年数の2倍の回数内とする。(リーグ戦が春秋と1年に2回開催されるため)
※2年制大学は4回、4年制大学は8回、6年制大学は12回
学連登録年数は大学最短修学年数とする。
- (5) 大学院生、聴講生等は選手登録を認めない。
- (6) チームに必ずC級以上の審判資格を所有した者がチームの構成員に在籍していること

2、大会出場の選手

スタッフ手続き (1) スタッフ・選手はチームからのエントリー届に基づきプログラム

(下部パンフレット)に記載されていなければならない。

- (2) スタッフ・選手のエントリーの人数は部長(大人であり当該大学教職員)、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生)各1名、選手のエントリー人数は99人までとする。
- (3) プログラム(下部パンフレット)に記載されていないスタッフ、選手は試合前に提出する「構成メンバー表」用紙に記載することはできない。
- (4) スタッフ・選手の追加エントリーの手続きは以下(①または②)の手順を行い、プログラム(下部パンフレット)に追加記載されて完了する。

- ① 登録していない、またはエントリーされていない学生は追加登録原簿(Excel)、JVA登録(MRS)加入選手一覧(pdf)、追加エントリー届(Excel)を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
- ② 登録していない、またはエントリーされていない大人のスタッフ(在学生以外)は追加登録原簿(Excel)、追加エントリー届(Excel)を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。

- (5) 部長以外のスタッフを変更し試合に出場する場合は、大会当日、本部に臨時役員変更届を届けて許可を得ること、構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。

(選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を本部に提出する事)

- (6) 追加登録・追加エントリーの期間
試合出場週の水曜日（18時まで）

* add@juvf.jp 以外に提出されたエントリーは受け付けません。

Ⅲ 大会申し込み手続き

※エントリー提出にあたり、開催要項・運営ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

1、エントリーについて

締め切り日【2023年8月11日（金）18時まで】

※エントリー届を提出し、受付後の変更はどのような理由があっても、一切認めないので注意すること

- (1) 原則としてエントリー締め切り期日までに間に合わない場合は、参加を一切認めず自動的に棄権となる。
- (2) エントリー締め切り後に、新入生の入部を確認した場合は追加登録・追加エントリーを必ず行うこと。（Ⅱ2(4)(6)に記載）
- (3) 棄権すると分かった時点で学連に連絡し、棄権届を学連事務所に郵送すること。

2、リーグ参加料

- (1) 男女1・2部は 7万円とする。

3、写真について

男女1部リーグのみ個人写真を撮影すること。

また、集合写真は男女2部リーグのみ撮影すること。

（ユニフォームの着用を原則とする）

締め切り日 【2023年8月4日（金） 18時まで】

Ⅳ 競技・審判

- 1、競技規則 本大会は2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2、競技方法

- (1) 男子1部2部、女子1部は 12チーム総当たりのリーグ戦とする。
- (2) 女子2部は 10チーム総当たりのリーグ戦とする。
- (3) 男子3部は 12チームを前リーグ戦の試合成績で A・B のグループに分けリーグ戦を行い、その成績を基に A・B の同じ順位同士で順位決定戦を行う。
女子3部は 12チーム総当たりのリーグ戦とする。
- (4) 男女4部～9部は 12チームを前リーグ戦の試合成績で A・B のグループに分けリーグ戦を行い、その成績を基に A・B の同じ順位同士で順位決定戦を行う。
- (5) 男女1～3部は5セットマッチ、4部以下は3セットマッチとする。

(6)給水の為のタイムアウトについて

- ①熱中症防止の観点から、室内温度が 30 度以上になることが予想される場合は、試合開始前に、給水タイムアウトを採用することを各チームに伝える。
- ②チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触(選手への声掛け等)をしてはならない。接触した場合は注意事項となる。

(7) セット間は 3 分間とする。

3、新型コロナウイルス

感染症対策 2023 年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦「大会運営ガイドライン」及び「対応指針」を遵守すること。

4、競技開始時刻

一試合目の試合開始時刻は10：00とし、入場可能時刻、フロア開放時刻、二試合目以降の進行は各部の判断に任せる。

*退場時刻は設けない。

- (1) 大会期間中プロトコールは開始設定時刻より 11 分前に開始する。
- (2) チームが正当な理由なしに、定められた時間までに(選手が 6 人以上)競技場に現れない場合は、不戦敗となる。
 - ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より 15 分後までとする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より 15 分後までとするため、試合の進行状況を確認すること。
 - ③ 試合の進行状況によっては、コートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意すること。

5、試合使用球 (1) 本リーグ戦は、男子がモルテン製カラーボール (V5M5000)、女子がミカサ製カラーボール (V300W)を使用する。

6、組合せ (1) 試合組合せは春季試合結果に基づき作成する。試合の順番が偏らないように配慮して作成する。

7、レフェリー (1) ファーストレフェリー・セカンドレフェリーは派遣するが、派遣するレフェリーが足りなくなった場合、補助に当たるチームの審判資格取得者がファーストレフェリーもしくはセカンドレフェリーを担当することもある。
(2) ラインジャッジ、点示、スコアラー、リベロチェック、ボールリトリバーは各チームより選出する。その際マスクを着用する、こまめにボールを消毒する等感染症対策をすること。

8、競技選手・スタッフ

メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ① エントリーする 18 名(選手 14 名+ベンチスタッフ 4 名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。

- ② 第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ③ 第2試合目以降は、会場入場後に本部受付へ提出すること。
 - 2試合目以降のチームは、前の試合開始前に提出しないこと。
 - ④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a.臨時役員変更届にて学連担当者に申し出ること。
 - b.スタッフの登録を定められた期限までに完了していること。
 - ⑥ 部長はチームスタッフではないため、監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとして、ベンチに入ることはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為をできないものとする。
- (2) 正規の競技者とりペロ競技者の人数割りについて13名以上選手エントリーするときは2名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。
 - (3) 当日はエントリーする18名(選手14名+ベンチスタッフ4名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。
 - (4) 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は、男女どちらか1つのチームにエントリーを行うこと。又は代理人(スタッフ、エントリー者に限る。)を立てる等の処置を取ることができる。

9、選手交代の手順

- (1) 各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認められない。
- (2) 選手交代を要求するときは、交代選手がサブスティチューションゾーンに入る。複数の場合は、同時にサブスティチューションゾーンに向く。その際、選手が準備できていない場合は拒否される。(その際遅延の罰則を適用されることが有る。)
 - ① 交代選手がサービスホイスル後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、不当な要求で拒否される。
 - ② 交代選手がサービスホイスル後にサブスティチューションゾーンに入りセカンドレフェリーがホイスルした場合でも、遅延の罰則となる。
- (3) セカンドレフェリーが許可した後、選手交代をキャンセルした場合は、遅延の罰則が適用される。
- (4) 交代する選手は、サイドライン上でセカンドレフェリーの指示に従い合図によって交代する。
- (5) スコアラーは記録用紙への記入が完了したら両手を挙げる。
- (6) 複数の選手交代の場合はセカンドレフェリーの指示に従うこと。

10、選手・スタッフの途中参加

- (1) 選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる。
 - (遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。)
 - ① 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことを審判にラリー間に伝え審判が確認した時点から、権利を行使することができる。監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。

- ② 監督以外のスタッフ・選手も途中参加することができる。

11、公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習は全日程、サーブ権を得たチームからそれぞれ1チーム3分間合同の場合は6分間とする。
- (2) 公式練習からベンチに着席を認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイック・モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのラインアップシートをセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。但し、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後、ラインアップシートの改正は認めない。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- (5) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（クイック・モッパ―を含め3名）を配置すること。ただしボールキーパーは、他コートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切認められない。
- (6) ボールカゴ及び部旗等は、公式練習後に競技エリア外へ出すこと。（当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。）部旗を壁に立てかけず、床に倒して置くこと。
- (7) ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

12、ユニフォームについて

- (1) ユニフォームナンバーについて
 - ① ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが15 cm以上、背部側は高さが20 cm以上であり、文字幅は2 cm以上のものでなければ着用を認めない。
 - ② ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
- (2) チームキャプテンは長さ8 cm、幅2 cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを胸部の番号の下に明瞭に付けること。
- (3) ソックスについては長さとし、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。
- (4) アンダーウーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
(膝関節の医療用装具を除く。)
- (5) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とははっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない。（例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする）リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (7) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は認められない。

- (8) エントリー届提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。(エントリーと異なる番号のユニフォームを着用し試合に出場した場合没収試合とする)
- ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。
- ② 使用するユニフォーム番号は1～99番とする。

13、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)が、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。(リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (2) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。
- (3) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (4) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (5) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名することを求めた場合、この要求は認められる。
- (6) 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する(ハンド・シグナルは示さない)。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。(再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る)しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
- ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

14、ワイピング行為について

- (1) クイック・モップは当該チームから2名まで配置することができる。服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う。
- (2) クイック・モップがない時は、試合前にチームが直接主審にその旨を伝えるこ

とで、コート上の選手が行うことができる。

- (3) 試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モッパ―が必ず行うこと。
- (4) クイック・モッパ―が応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) 手袋の着用は任意とする。

15、競技全般の不法行為の取扱い

- (1) 2023 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
- (2) （一財）全日本大学バレーボール連盟及び（公財）日本バレーボール協会に登録されていない学生、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていない大人、エントリーされていない選手・スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6 人制競技規則 7.3.5.4 に従って処分する。
（ルールブックに記載）
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人物の同一試合での繰り返し行為には、累進的な制裁を受ける。

- ① 「非スポーツマン的行為」及び「無作法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。

原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。

（例）

- ・ 警告：ステージ 1 ゲームキャプテンを通じて口頭での警告
- ・ 警告：ステージ 2 当該チームメンバーに対して、イエローカードを示して警告
- ・ ペナルティ：当該チームメンバーに対してレッドカードを示し、相手に 1 点とサービス権を与える
- ・ 退場：当該チームメンバーに対してイエロー、レッドカードを一緒に示す（当該試合終了までチーム控室に行く）
- ・ 失格：当該チームメンバーに対してイエロー、レッドカードを別々に示す（当該試合終了までチーム控室に行く）

- ② 「攻撃的な行為」については、1 回目で失格とする。

16、試合前の待機中のチームについて

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、換気、消毒後学連員の指示があるまでフロア外に待機すること。
- (2) アップに関しては各会場の指示に従う。

17、部長・チームスタッフについて

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長・マネージャー以外の全ての役職を行うことができる。
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
当該大学の学生は、（公財）日本バレーボール協会、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (3) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合、競技委員長の判断により緩和することができる。
※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (4) 試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (5) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (6) レフェリーの判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (7) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は制裁の対象となる。
- (8) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章(部・監・C・T・M)を付けなければベンチに入ることができない。※ただし、左胸につけること。
- (9) 学連員を必ず登録することとし、パンフレットに記載をする

18、応援について

マスクの着用は任意とした上で発声を伴う応援を認める

19、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は17名（スコアラー1名、アシスタントスコアラー1名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名・ビス3名）で行う。
- (2) 第1試合の補助員については第3試合の両チームが担当する。
- (3) 学生補助役員はプロトコール10分前までに記録席に集合すること。
- (4) ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。
- (5) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (6) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり、注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。
- (7) 人数が不足する場合は、対戦する相手チームに協力を依頼すること。
- (8) チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。

20、規律委員会

について

規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。

21、棄権・没収

の取扱い

(1) 棄権の取り扱いについて

・感染症発生により試合が行えなかった場合は、再試合を検討する。再試合が出来ない場合は棄権とみなし、順位を決定する。

※感染症以外での棄権については、同部最下位とする。

※虚偽の報告がなされた場合には、規律委員会にかけ処分を決定する。

※棄権については従来通り、「0－3」(0-25,0-25,0-25)もしくは「0－2」(0-25,0-25)として取り扱い、順位を決定する。

(2) 秋季リーグ全試合棄権について (対象：男女3部以下)

・秋季リーグの全試合を、棄権したチームは現在所属する部で秋季リーグ最下位として扱う行うものとする。→入替戦(自動入替)チームの対象となる。

※その際に「0－3」(0-25,0-25,0-25)もしくは「0－2」(0-25,0-25)として試合を処理することとする。

※複数チームいる場合には2023年度春季リーグの結果を元に棄権チームに順位をつける。

※事前棄権したチームがリーグ期間中に他の大会に出場しているのが発覚した場合には、規律委員会にかけ処分を決定する。

22、リーグ戦の

順位決定方法

* 1. 勝敗

* 2. セット率

総得セット

総失セット

これを算出し高い方が上位。

* 3. 得点率

総得点

総失点

これを算出し高い方が上位。

得点率も同じ場合

・2チームの場合は当該校同士の試合の勝ちチームが上位。同じ場合は前季リーグ戦の成績順位による。

・3チームの場合は前季リーグ戦の順位により決定し再試合は行わない。全試合終了後、代表者会議を開き戦績及び順位の確認を行うこと。

【男子1、2、女子1、2部の最終順位決定方法】

男子1、2部、女子1部

12チーム総当り戦の順位を上記の方法により決める。

女子2部

10チーム総当り戦の順位を上記の方法により決める。

責任を負わない。

- VI、そ の 他
- (1) 本リーグ戦前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
 - (2) 本リーグ戦の期間中に選手が負傷した場合、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
 - (3) 2023 年度(公財)日本バレーボール協会 6 人制競技規則、(一財)関東大学バレーボール連盟開催要項事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。

本リーグ戦に関する問い合わせ先

一般財団法人関東大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町4-6 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (受付時間は20:00までとする)

ご意見やご不明点に関しては、下記のメールアドレスにて申しつけ下さい。

E-mail : info@juvf.jp

HP : <http://kanto.volleyball-u.jp/>